

を挙げてゐる。

県計画課の加藤数功氏の県下に於ける民俗・山岳・観光に関する調査研究は堂に入ったもので、その研究発表は裨益するところが多
い。

本文の筆者立川輝信は三〇年度益踊り団七踊りについて、「かや考上・下、坊主考上・下」の各篇を大分新聞に。又「ニセ札まかり通る」を大分合同新聞に。三一年度には伝、竹田の画いた版戸を大分新聞に。新二豊風土記「柞原八幡宮と庄内」を雑誌「豊州雄筆」二月号に。享保十一年の南郡因尾村の走り百姓と逃散に就いてを本誌に発表した。

其の他県下には地方史研究の機運に乗じ、一段と研究を進められている人々が多数あることと思ふがこれを調査するの時日と機会を得ないのを甚だ遺憾とする。記載もれの各位に対しては筆者の寡聞を厚くお詫びして筆を擱く。

三木俊秋氏の転任

本県教育研究所員で大分県史料編纂員を兼ね、県下古文書の調査研究に多大の貢献をなす、その真摯なる研究態度と、その成果の発表

に対し、本誌同人一同よりも敬意を表され將來を嘱目されていた三木俊秋氏は、今回十一月一日付で九州大学九州文化史研究所主任として榮転された。本県としては惜しい人であるが御本人の爲めに祝福すると共に御健康で將來の御発展を一同お祈り致します。(立川)

新刊紹介

田北学教授編輯

続・編年大友史料 併 大分県古文書全集

戦前富山房より出版された編年大友史料二巻は、大に学界に認められ、既に稀覯本となつて浴陽の紙価を高くしている。従つてこれが続編の出版を待望すること久しかつたが、愈々今回既刊中の続大友史料同様編者の自費で刊行された。

本巻には正平七年正月より、文中三年二月迄の、大分県古文書と、大友史料を篇年に収録してあるが、この史料中には、今日では最早、散逸して無くなつているものも沢山含まれてゐる。例によつて各古文書とも、懇切な註釈が附してあるので、大友氏の歴史は勿論

九州の歴史事実を容易に且つ正確に知ることが出来る。

因に続編年大友史料は、全十巻の予定で、毎巻百部限定の出版である。購読希望の向は直接編者或は大分市上野町立川輝信宛申込れたい。

B五、孔版、和綴、美装本、二百二十餘頁 頒価一部六百円・郵税九州管内五拾五円。

大蔵和市校合

対 豊 西 記 完

豊西記は豊後の國の豊西、即ち日田郡の記録で、森春樹の著である。日田で一番古い本で、日田の古事を知るには最良の貴重本であるが、なか／＼手に入らない稀覯本であつた。

然るに編者故大蔵和市氏は、これを遺憾とし、生前自ら各種類本を校合して、完本の編纂を志し、漸く多年の念願を達しながら、出版半ばにして不帰の客となつた。後嗣大蔵庸世氏が亡父の遺志をつぎ、その三回忌の供養に出版されたのが本書である。

A五、並製、一七六頁・昭和三〇年十一月一日大蔵三光堂発行。非売 (立川記)

宇佐史研究

複刊才二号(才二四卷二・三号才二五卷一号)

注目されつゝある「宇佐史研究」の才三号が発刊された。この会は宇佐文化の研究の推進の為に全国の宇佐史研究家を動員し、同時に郷土の人を含めた唯一の研究機関誌である本号は経費の關係で三号の合集になつたといつてゐるが、次のような研究がみられる。

宇佐宮行幸会

岡 為造
九州に於ける名の性格変化について

橋本 操六
中世村落における神人の發生
—宇佐八幡本好氏をめぐつて—

中野 幡能

等がある。

因みにこの会は多数の同好者の入会を待つてゐる。会費三百円雑誌年三回発行、発行所大分県立教育研究所内宇佐地方史研究会

会報

本会の才三回大会は去る六月十七日(日曜)大分市金池町大分市中央公民館において、

新刊紹介

多数の参加者を一堂に会し、多くの研究が発表され、午後別府教授岡本良知氏の特別講演が行われ、絶讃に浴した。最後に昨年度会計経過報告が行われ本会は盛会の内に終了した。なお、研究発表は午前十時半より一時頃までかゝり、昼食後特別講演・会計報告があり四時過ぎ散会した。
当日の研究発表及び特別講演は次の通りである。

研究発表

- 一、仁聞菩薩について 県立教育研究所員 中野 幡能
 - 二、地名「牛踏」について 県立舞鶴高校教諭 染矢多喜男
 - 三、唐申信仰の歴史 大恩寺中学教諭 芦茹 政治
 - 四、杵築地方の新田開墾について 浅野 勝
 - 五、青の洞門について 県文化財専門委員 山本 聰治
 - 六、新発見のキリシタン墓について 大分大学助教授 半田 康夫
- 特別講演
宗麟没後の義統行状の一斑
別府大学教授 岡本 良知

編集後記

予定していた原稿の到着が遅れたり、お願いの原稿が来なかつたり、意外に発刊が遅れてしまつた事をお詫びします。本号からついに二段組になつてしまつた事は残念です。しかし内容は益々充実したのものにもつて行きたいと思ひます。燈火親しむの候会員の皆様の御健闘を祈ります。(中野)

昭和三十一年十月十五日 印刷
昭和三十一年十月十五日 発行
年 費 三〇〇円
分売は本号に限り 頒価 一〇〇円
大分県地方史研究会
編輯兼 代表者 渡 辺 澄 夫
発行人 高 井 久 雄
印刷人 高 井 久 雄
大分市上野 電話一七七五番
印刷所 三惠印刷株式会社
大分市駄原 大分大学
学芸学部国史研究室内
発行所 大分県地方史研究会
(振替口座下関五二九四番)